

タイの企業が日本で活発な太陽光発電事業を展開¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット
新エネルギーグループ

この一年、タイの企業が日本の太陽光発電（PV）市場に進出するというニュースが目撃された。

特に活発な活動を展開しているのは、鋼ビレットを製造するチャオ・スチール（Chow Steel Industries）社である。同社は今年 1 月、子会社²を通じて京都府に発電容量 18MW の太陽光発電所を建設すると発表。10 月末現在、第 1 期（4MW）の建設を終えており、年内にも残り 14MW の完工を予定している³。

チャオ・スチールは今後、タイの企業と組んで、日本での PV 事業をさらに拡大する計画である。同社の日本でのビジネスモデルは（1）子会社を通じた自己資本事業、（2）ターンキー⁴事業、（3）合弁事業、の 3 つに分類される（前述の京都プロジェクトは（1）に該当）。（2）では、太陽光発電などを手がけるタイのイースタン・プリンティング（EPCO）社が宮城県栗原市に建設する 23MW の太陽光発電所のターンキー契約を請け負う。（3）については、10 月半ばにチャオはタイの民間電力会社ラチャブリ（Ratchaburi Electricity Generating）社と合弁を設立したと発表した。新会社は長野県上田市と福島県いわき市で PV プロジェクト（計 33MW）を手がけ、いずれも 2016 年の稼働を見込む。

一方、タイの石油大手バンチャック・ペトロ（Bangchak Petroleum）社も今年 2 月、日本での PV 事業を検討していると報じられた。日本に 30~50MW 規模の PV プラントを複数建設するという。同社社長は 4 月の株主総会で日本の PV 事業への投資について言及し、現在その準備を着々と進めていると述べた⁵。

このほかに注目されるのは、女性社長のワンディ・クンチョーンヤコン（Wandee Khunchornyakong）氏率いる SPCG（SPCG Public Company）社である。SPCG は今年 8 月、京セラと共同でタイ北東部に 35 箇所の太陽光発電所（計 257MW）を稼働させた⁶ばかりだが、今後は日本を含む数カ国で PV 事業を手がける方針である。10 月下旬のバンコク・ポスト紙によると、同社は来年、ASEAN 諸国、日本、およびネパールで太陽光発電所を建設・

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² Chow International 社と Premier Solution 社の 2 社

³ <http://chow.listedcompany.com/news.html/id/431537>

⁴ ターンキーとは、工場設備を運転できる状態に仕上げ引き渡す設備一括請負契約を指す。

⁵ <https://www.bangchak.co.th/.../download.aspx?file=...>

⁶ 京セラは全てのサイトの太陽光パネル供給者に選ばれ、110 万枚のパネルを供給した。

運営する計画で、総事業費 10 億バツ（約 36 億円）のうち半分を日本での事業に投資する⁷。

日本では、2012 年に国が再生可能エネルギーの固定価格買取（FIT）制度を導入して以来、太陽光発電事業に参入する外国資本が増えている。しかし、主な参入国は再エネ先進国のドイツやスペイン、あるいはソーラーパネルを海外に多く出荷する米国や中国であり、それ以外の国の企業が日本の太陽光発電事業を手がけるケースは珍しい⁸。それだけに、最近のタイ企業による一連の動きは注目に値する。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp

⁷ 2019 年までに、これらの地域における SPCG 社の PV 発電容量は 500MW に達する見通しである。その第一段階として、京セラと提携して日本で 15MW のソーラーファームを建設・運営するほか、ミャンマーに 2MW、ベトナムに 1.5MW、ネパールに 30MW のソーラーファームを建設・運営する。

⁸ 外国資本による主な事業としては、独 Photovolt Development Partners 社が長崎県佐世保市宇久島に 430W（2015 年着工予定）の太陽光発電所の建設を計画している。ほかにも、米 GE 社が岡山県瀬戸内市内の塩田跡地に 230MW（2018 年稼働予定）、米ゴールドマン・サックス社が茨城県水戸市に 40MW（2015 年稼働予定）、スペイン Gestamp グループが茨城県大子町の 31MW（2015 年稼働予定）ほか 8 箇所、それぞれ建設を計画している。また、中国の漢能太陽能集団（ハナジー・ソーラー）も今年、日本でメガソーラー事業に参入し、同時にソーラーパネルの供給も行うと発表している。